



Title	アニメ聖地巡礼行動における旅行者の情報環境に関する研究
Author(s)	岡本, 健
Description	要旨の出典：概要集 第6回観光情報学会全国大会 in 加賀市 観光と地域再生. 2009. p.11
Relation	第6回観光情報学会全国大会. 平成21年5月28日～平成21年5月30日. 加賀市
Issue Date	2009-05-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/38537
Type	conference presentation
File Information	okamoto_ppt.pdf, プレゼンテーション資料



アニメ聖地巡礼行動における 旅行者の情報環境に関する研究

北海道大学 大学院
国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻
博士課程 岡本健

背景

● アニメ聖地巡礼

アニメの背景に使われた場所や、アニメに関連する場所を「聖地」とし、ファンが巡る行為。

● その誕生と展開

1990年代に情報技術の発展とともに登場し、広がって行ったと言われている
(岡本 2009)。

背景

- アニメ聖地巡礼は
全国各地で行われている

例えば ・ ・ ・

凡例

「場所の名前」

『作品名』

「富山県城端市」

『true tears』

「宮城県仙台市・七ヶ浜町」

『かななぎ』

「広島県三次市」

『朝霧の巫女』

「埼玉県鷲宮町」

『らき☆すた』

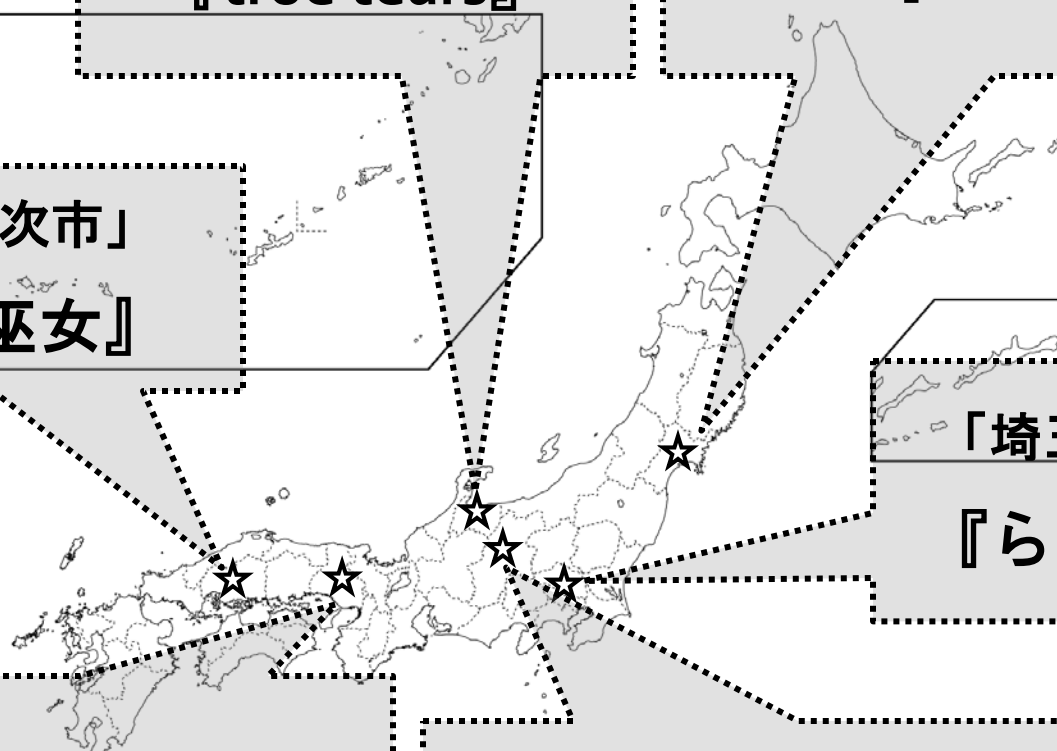
「兵庫県西宮市」

『涼宮ハルヒの憂鬱』

「長野県大町市」

『おねがい☆ティーチャー』

『おねがい☆ツインズ』



背景

- 通常のメディアコンテンツを旅行動機としたものの違い

通常ロケ地がどこかは明かされていない。アニメ聖地巡礼者が自力で見つけ出していく。

ネット上で、ロケ地探しの議論が起こり、情報が共有される。



背景

- 中には聖地巡礼者が地域住民と協働して、まちおこしに発展する事例もある。

①長野県大町市

②広島県三次市

③埼玉県鷲宮町

④宮城県七ヶ浜町

背景

- 旅行者と地元住民が、協働でまちおこしを行うような関係を構築する条件とはどのようなものだろうか。
- それを明らかにするためには、関係性を構築する様々なアクターの行動を明らかにする必要がある。

目的

- アニメ聖地巡礼者が
聖地巡礼前、
聖地巡礼中、
聖地巡礼後、にどのような
情報の受発信を行っているのかを
明らかにする。

方法

①参与観察

→聖地巡礼を行い、自分の行動や、現場に残されたものを調査する。

②インタビュー

→聖地巡礼者および地元住民

結果

- ①情報の受発信（巡礼前）
- ②情報の受発信（巡礼中）
- ③情報の受発信（巡礼後）

情報の受発信（巡礼前）

- アニメの視聴（受信）
→ ビデオ、DVD、動画サイト、等
- 巡礼情報の収集（受信）
→ ホームページやブログ、等
- 巡礼をすることを報告（発信）
→ コミュニティがある場合SNS、等
- 行き方・宿泊施設の情報（受信）
→ 地図サイト、路線検索サイト、
宿泊施設のHP、等

情報の受発信（巡礼中）

- 聖地の撮影（受信）

→ デジタルカメラ、携帯についているカメラ、一眼レフカメラ、等

- 巡礼地での様々な作品（発信）

→ 痛絵馬、聖地巡礼ノート、黒板アート、等

- 巡礼実況中継（発信）

→ 掲示板、SNS、ブログ、等

巡礼地での様々な作品（発信）

黒板アート



ガイドブック



痛絵馬



情報の受発信（巡礼後）

- 巡礼の記録（発信）

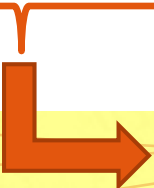
→ホームページやブログ、等

- 聖地に関するデータ報告（発信）

→掲示板、SNS、等

- アニメの再視聴（受信）

→ビデオ、DVD、動画サイト、等



巡礼前につながる

情報収集

情報発信

聖地巡礼前

DVD・ビデオ

アニメの視聴

聖地関連の
HPやブログ

デジタルカメラ

アニメ聖地の撮影

聖地巡礼中

聖地巡礼後

PCや携帯電話などのインターネット端末

聖地関連のHPやブログ

痛絵馬

痛車

アニメグッズ

聖地巡礼
ノート

・HPやブログ
の更新
・電子掲示板
やブログ、へ
の書き込み

同人誌

聖地巡礼前

聖地巡礼中

聖地巡礼後

まとめと今後の展望

- 今回、大まかではあるが、アニメ聖地巡礼者の情報環境について整理をすることができた。
- 今後、今回の成果を元に、アニメ聖地巡礼者の行動に対して、地域住民側はどのような情報環境をもち、それに対応したのかについて明らかにしていく予定である。
- アニメ聖地巡礼は、情報化の影響を大きく受けているため、その後協働型のまちおこしにつながる際には、情報コミュニティが大きな役割を担っている可能性がある。